

1. 発行者の略称(出版社名)
2 東書 46 帝国
2. 調査研究の経過
7月 1日 第1回竹田地区教科用図書選定委員会 7月 25日 第2回竹田地区教科用図書選定委員会 月 日
3. 調査研究の観点
【全教科(種目)共通観点】 1. 単元・題材の構成及び内容の取扱い (1) 学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。 (2) 単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。 (3) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。 2. 文章表現、資料等 (1) 文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。 (2) 資料・手引き等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。 3. 挿絵・図表及び紙質・造本 (1) 挿絵・図表・統計等が、どのように示されているか。 (2) 紙質・造本については、どのように示されているか。 【各教科(種目)独自観点】 (1) 地図から地理的事象を発見したり、地図から地域的特色や地域的課題を捉えたりするなど、読図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。 (2) 観察や調査の活動を通して明らかになったことを地図上に描くといった作図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。 (3) 歴史・公民との関連はどのように示されているか。
4. 選定委員会(専門研究員の調査・研究)についての意見、感想ほか
各社「二次元コードからつながるコンテンツの充実」および「持続可能な開発目標についての特設ページ」に力を入れていることが分かる。特に、「二次元コードからつながるコンテンツの充実」に関しては、生徒一人ひとりが課題を追求できるための内容が多く、学びに向かう力の育成を目指していることがわかる。地形の高低を表す色使いが両社で大きく異なる。

教科用図書 種目(地図) 教科書会社 No(2)

発行者の番号・略称		番号	2			略称	東書								
使用学年		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年								
教科書番号		702	702	702											
項 目		所 見													
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土については、「日本固有の領土」「不法に占拠」、「外交交渉も続けています」と記載。 ・竹島については、「日本固有の領土」「不法に占拠」、「外交交渉を続けています」と記載。 ・尖閣諸島については、「日本が実効支配していて、国際社会からも日本の領土であると認められています」と記載。 ・地図帳の使い方のガイダンスのページ数は 3 ・地図帳の使い方として、地図の種類、見方、使い方、デジタルコンテンツ、さくいんの使い方について示している。 ・日本の地域別地図では、100 万分の 1 の地図を掲載している。 													
	2. 文章表現、 資料	・二次元コードからつながるコンテンツ数は 1 1 0													
	3. 挿絵・図表	・統計資料の項目は 5、表およびグラフの数は 7 5													
	4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・UD フォント ・ 5 6 8 g ・ 総ページ数 1 7 6 ・ A4 判 ・高低や都市部を表す配色が落ち着いた色を使っている。 													
教 科 独 自	5.	<p>(1) 「Bee' s eye」を設定し、読図の着眼点を示している。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>世界</td> <td>日本</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>着眼点の数</td> <td>40</td> <td>42</td> <td>82</td> </tr> </table> <p>(2) 作図のページでは、地図記号、縮尺、等高線の種類、方位について図表等を用いて説明し、作図に関する視点を示している。</p> <p>(3) 歴史・公民に関する資料を「アイコン」を用いて示している。</p>							世界	日本	合計	着眼点の数	40	42	82
	世界	日本	合計												
着眼点の数	40	42	82												
6. その他 (地域の特殊性についての配慮)		<ul style="list-style-type: none"> ・地図中に地域の史跡・名所名が文字で記されている (七ツ森古墳群、岡城址、原尻の滝、岩戸遺跡、犬飼石仏、虹潤橋、稲積鍾乳洞) ・自然災害・防災対策は 2 ページ 													
7. まとめ (特色及び総合所見)		<ul style="list-style-type: none"> ・地図中の情報量が豊富である。 ・二次元コードからつながるコンテンツに力を入れている。 ・鳥瞰図が多く取り入れている 													

教科用図書 種目(地図) 教科書会社 No(46)

発行者の番号・略称		番号	4 6			略称	帝国						
使用学年		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年						
教科書番号		702	702	702									
項 目		所 見											
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記載。関連するページとして、「国境の変遷」、「日本の領土とそのまわりの国々」を示している。 ・竹島については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記載。関連するページとして、「竹島の諸島図」、「日本の領土とそのまわりの国々」を示している。 ・尖閣諸島については、「日本固有の領土」と記載。関連するページとして、「日本の領土とそのまわりの国々」を示している。 ・地図帳の使い方のガイダンスのページ数は 3 ・地図帳の使い方として、小学校での学習を含め、地図の種類、見方、使い方、さくいん、統計の説明や読む視点を示している。 ・日本の地域別地図では、100 万分の 1 の地図を掲載している。 											
	2. 文章表現、 資料	・二次元コードからつながるコンテンツ数は 9 7 1											
	3. 挿絵・図表	統計資料の項目は 1 5、表およびグラフの数は 1 1 2											
	4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・UD フォント ・ 5 4 4 g ・ 総ページ数 1 9 8 ・ A4 判 ・高低や都市部を表す配色が明るめの色を使っている。 											
教 科 独 自	5.	<p>(1) 「地図で発見」を設定し、読図の着眼点を示している。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">世界</td> <td style="text-align: center;">日本</td> <td style="text-align: center;">合計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">52</td> <td style="text-align: center;">49</td> <td style="text-align: center;">101</td> </tr> </table> <p>(2) 作図のページでは、地形図、地図記号、縮尺について図表等を用いて説明し、作図に関する視点を示している。</p> <p>(3) 「歴史アイコン」・「公民アイコン」を設置し、教科書との関連を明記している</p>						世界	日本	合計	52	49	101
世界	日本	合計											
52	49	101											
6. その他 (地域の特殊性についての配慮)		<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害・防災対策は 4 ページ ・地図中に地域の史跡・名所名が文字で記されている (県央空港、菅尾石仏) 											
7. まとめ (特色及び総合所見)		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・公民との関連を重視した表記が多い ・二次元コードからつながるコンテンツが豊富である ・持続可能な社会についての特設ページが 7 ページ 											